

## 組織的な若手研究者等海外派遣プログラム報告書

氏名： 鮫島弘光	提出日：平成 23年 1月 13日
東南アジア研究所における職名： * 右記の該当する職位に○をつけて下さい。(講師・助教・助手 <input checked="" type="radio"/> ポスドク <input type="radio"/> 博士課程学生・修士課程学生・学部学生)	
派遣先の研究機関等(調査を実施した国名・機関名及びカウンターパートの研究者名)： インドネシア・リアウ大学アフアマト・ムハマンド氏、インドネシア科学技術院ゴノ・セミアディ氏 * 派遣先の研究機関等の種類について右記の該当する箇所○をつけてください。 <input checked="" type="radio"/> 大学・研究機関 <input type="radio"/> 企業・その他)	
派遣期間：平成 22年 10月 28日 ~ 平成 22年 12月 29日 (派遣日数：63日)	
研究活動等の主な内容(該当する番号に○をつけてください。複数可) ① 研究・実験 <input checked="" type="radio"/> ② フィールドワーク ③ セミナー ④ インターンシップ ⑤ サマースクール等の講習 ⑥ 学会出席 ⑦ 単位取得等 ⑧ その他	
研究活動の主な領域(該当する番号に1つ○をつけて下さい。) ① 文学 ② 社会科学 ③ 数物系科学 ④ 化学 ⑤ 工学 <input checked="" type="radio"/> ⑥ 生物学 ⑦ 農学 ⑧ 医歯薬学 ⑨ 総合領域 ⑩ 複合新領域	
派遣の概要(500~700字程度) 科研基盤研究(S)「東南アジア熱帯域におけるプランテーション型バイオマス社会の総合的研究」の一環として、次の4か所に派遣され、予定の成果をあげた。 1) マレーシア・サバ州デラマコット森林管理区：本プロジェクトで使用する「ランダムカメラトラップ法」による地上性哺乳類のインベントリー・モニタリング技術の試験 2) マレーシア・サラワク州ビンツール：本プロジェクトに関する現地打ち合わせ 3) インドネシア・リアウ州ギアムシアッククテル・ブキットバトゥ生物圏保護区：本プロジェクトで使用する「ランダムカメラトラップ法」による地上性哺乳類のインベントリー・モニタリング技術の試験 4) インドネシア・中央カリマンタン州 SBK 社コンセッション：本プロジェクトで使用する「ランダムカメラトラップ法」による地上性哺乳類のインベントリー・モニタリング技術の試験	
事業に係る研究成果(500~700字程度) 1) の結果は現在日本でデータ解析中である。 3)、4) については2011年度に現地を再訪し、データ回収を行う予定である。	